

タログ展示でご協力をいただいた。記して感謝いたします。

〔味の素㈱ライフサイエンス研究所 宮野 博〕



高分子分析研究懇談会第 316 回例会

標記例会が 2002 年 12 月 4 日 (水) 簡易保険会館「ゆうばうと」で開催された。興味深く示唆に富んだ講演・ワークショップそれぞれ 2 件と、活発な討論とが行われた。雨模様にもかかわらず参加者は約 40 名であった。

最初に、大谷 肇氏 (名大院工) より「PC の分岐・架橋構造に関するキャラクタリゼーション」と題する講演があった。ポリカーボネート (PC) の分岐構造を有機アルカリ共存下での反応熱分解 GC により解析した例が紹介された。この手法により PC の数平均分子量や架橋密度が求められることも示され、通常の熱分解 GC に比べターゲットを絞った分析例が紹介された。また、シリコン添加 PC の難燃化構造の解析を同法により行い、難燃性が高温で起こる架橋構造形成と密接に関係していることが示唆された。

続いて、板谷利明氏 (クラレ) より「SEC-MALS を用いたポリビニールアルコール (PVA) 水溶液の会合挙動解析」と題する報告があり、PVA ゲル前駆体の生成挙動を会合体の大きさと分子量の関係から解析した研究例が紹介された。120°C で溶解された PVA の水溶液を SEC-MALS により種々の条件下で観測した結果、会合体の回転半径は一定である、構造の密度は静置日数や水溶液濃度によらない、希薄溶液領域でも会合体が生じていることなどが報告された。

2 件目のワークショップは、「エネルギーフィルター TEM による高分子ナノ局所構造解析」と題して堀内 伸氏 (産総研) より話題提供があった。本手法は、非弾性散乱によりエネルギー分散した電子のエネルギースペクトルを取ることで特定の場所の元素情報や化学結合の情報が得られ、特に C, O, N, Si など軽元素のマッピングをナノメートルオーダーの微領域で行うことができる。接着剤・高分子界面に存在する元素の分布を解析した例が示された。

最後に、「情報部材のインターフェース機能の発展と動的解析」と題して黒田孝二氏 (大日本印刷) より講演があった。印刷加工過程を理解し問題をすばやく解決するためには、様々な緩和時間をもつナノ領域での現象を動的に解析・評価するツールをもつことが重要であることが示された。例えば、現場で起こる様々な現象を各部門共通の問題意識をもつために大きな役割を果たすビジュアル化の一例が示された。また、将来のモノ作りにおける問題解決に欠かせない川上川下産業間の知識融合に分析部門間の交流が欠かせないこと、「By Site Solution」にとって 21 世紀の科学体系への変換が求められること、最後に人間の感性を無視してはモノ作りができないことが強調された。

なお、例会の後、同会館にて忘年会を兼ねた懇親会があり、和やかな雰囲気の中本年の研究懇談会活動を振り返りながら懇談が行われた。

〔産業技術総合研究所 衣笠晋一〕

掲 示 板



第 20 回環境科学セミナー

—LC/MS 講演会・一般講演会—

- ◇日時：2003 年 3 月 17 日～19 日 (うち 2 日間)
- ◇会場：労働スクエア東京 (中央区新富町 1-13-14)
- ◇主催：環境省
- ◇テーマ・演題等：① LC/MS 講演会「LC/MS 及び LC/MS/MS を用いた最新の環境化学物質の分析法と応用」、② 一般講演会「PRTR への取り組みについて」。プログラム等の詳細は、ホームページ (<http://www.jesc.or.jp/>) 参照。
- ◇問合先：(株)日本環境衛生センター研修広報室 (FAX: 044-288-5217, E-mail: kikaku@jesc.or.jp)



第 3 回 (2003 年) 財団法人材料科学技術振興財団山崎貞一賞推薦要綱

- ◇選考対象分野：① 材料、② 半導体及び半導体装置、③ 計測評価、④ バイオサイエンス・バイオテクノロジー。
- ◇選考対象者：下記へ問い合わせるか URL をご覧ください。
- ◇顕彰：各分野 1 件それぞれに賞状及び副賞 (メダル・賞金 300 万円) を贈呈します。
- ◇締切期日：2003 年 4 月末日必着
- ◇推薦書請求先・提出先：〒157-0067 東京都世田谷区喜多見 1-18-6 (株)材料科学技術振興財団 山崎貞一賞事務局 (電話：03-3415-2200, FAX: 03-3415-5987, E-mail: prize@mst.or.jp, URL = <http://www.mst.or.jp/>)



第 5 回国際ゲノム会議

- ◇日時：2003 年 6 月 26 日 (木)・27 日 (金)
- ◇会場：パシフィコ横浜 (横浜市西区みなとみらい 1-1-1)
- ◇テーマ：「分子から生体システムへ」
- ◇特別講演：Dr. Sydney Brenner (2002 年ノーベル医学・生理学賞受賞)、田中耕一氏 (2002 年ノーベル化学賞受賞)
- ◇事前登録締切：2003 年 5 月 24 日 (土)
- ◇ポスター発表申込締切：2003 年 4 月 11 日 (金)
- ◇附設展示会出展申込締切：2003 年 5 月 12 日 (月)
- ◇連絡先：(株)イー・イー企画 (担当：塚口) (〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-2-8 昭文館ビル 3 階、電話：03-3230-2744, E-mail: aeplan@magical2.egg.or.jp, URL = <http://agw.genome.ad.jp>)